

株式会社 関西アーバン銀行 様



渉外行員のタブレット端末を SIM 搭載モデル「MediaPad 10 Link+ 402HW」に変更しスムーズな業務を実現

関西を中心に 156 店舗を展開する関西アーバン銀行では、2013 年 7 月よりタブレット端末を導入し、業務に活用しています。行動予定や各種資料等を閲覧するほか、訪問先で書類等の授受を行った際に携帯型プリンタで預かり証を発行しています。2016 年からは SIM を搭載したタブレット端末「MediaPad 10 Link+ 402HW」（以下、402HW）の導入を進め、外出先でのネットワーク接続環境を改善しています。

課題と導入の効果

課題

Wi-Fi モデルのタブレット端末を使用していた頃は、モバイル Wi-Fi ルータと 2 台持ち歩く必要がありました。

効果

SIM 搭載タイプの 402HW にしたことでモバイル Wi-Fi ルータは不要になりました。

課題

モバイル Wi-Fi ルータではネットワーク接続できるまでに時間がかかっていました。

効果

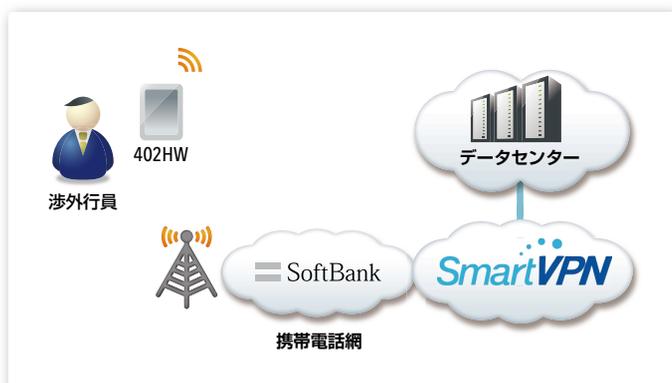
402HW はネットワーク接続が早いので、お客様をお待たせすることなく業務を進められます。

関西アーバン銀行では 2006 年より渉外行員の行動予定や業務報告、預かり証発行などを行う自社システムを開発しフィーチャーフォンを使って社外業務をすべてシステム連携する業務スタイルを導入していました。大きな画面で操作できるようタブレット端末への切り替えを検討した際、自社システムとのネットワークをスムーズ

にするために SIM 搭載型モデルを希望していましたが、利用中の携帯型プリンタに対応した SIM 搭載型の製品がなかったため、Wi-Fi モデルのタブレット端末、モバイル Wi-Fi ルータ、携帯型プリンタの 3 台による運用を続けてきました。

しかし、モバイル Wi-Fi ルータを使った運用ではネットワーク接続に時間を要し、その間お客様をお待たせするケースがありました。さらにデバイスに対して充電、保管、故障対応といった保守管理を個別に行うのは管理部門に大きな負荷となっていました。

そうした折り、ソフトバンクから発売された 402HW の SIM 搭載型モデルが同行で利用中の携帯型プリンタに対応していると分かり、既存のタブレット端末からの切り替えを進めることにしました。SIM 搭載モデルになったことでモバイル Wi-Fi ルータが不要になり管理コストを削減できたほか、ネットワーク接続も迅速化され、現場の渉外行員からも好評です。



お客様の声



関西アーバン銀行
システム部
営業店システムグループ長
事務統括部 次長
山中 照久 氏



関西アーバン銀行
システム部
事務統括部 上席部長代理
道廣 雄三 氏

当行では約 1,000 台のタブレット端末を導入して渉外行員の業務に活用しています。当初から SIM 搭載型モデルを検討していたのですが既存の携帯型プリンタとの接続性に問題があり、やむなく Wi-Fi モデルを導入した経緯があります。今回 402HW を導入できたことでようやく懸案を解消できました。これから 402HW 導入数を順次拡大していく予定です。今後は地図アプリケーション上に担当区域と取引先情報を表示できるシステムを開発するなど、タブレット端末の活用範囲を拡大させていきたいと考えています。

預かり証の発行以外にも、一日の行動予定や営業活動に必要な情報などもタブレット端末を介して外出先で確認を行っています。もともとフィーチャーフォン用に開発したシステムを Android アプリに移行して運用していますが、402HW 導入時には既存のタブレット端末と OS を同一にすることでスムーズに移行することができました。システムを運用するデータセンターまで 402HW から接続する際は、携帯電話網を通じてソフトバンクの閉域ネットワーク「SmartVPN」に接続するゲートウェイサービス「モバイルゲートウェイ」を利用し、インターネットを介さないセキュアな通信環境を構築しています。



渉外行員は「402HW」にインストールされた自社開発アプリケーションを使って業務を行う



携帯型プリンタはシート紙を利用できるモデルを選定

導入企業情報



会社名：株式会社関西アーバン銀行
本社：大阪市中央区西心斎橋 1 丁目 2 番 4 号
設立：1922 年 7 月 1 日
URL：<http://www.kansaiurban.co.jp>
従業員数：2,429 名（2016 年 3 月末現在）

※パンフレット記載内容は、2016 年 4 月現在のものです。